

合志中部保育園

入園のしおり

- 2013 (H25) 年度 -

主の愛にキラキラと輝き育て”光の子”



ふくいんふくしかい
社会福祉法人 福音福祉会

合志中部保育園

<http://www.koshi-chubu.ed.jp/>

〒861-1115 熊本県合志市豊岡311-1

TEL 096-248-0080 FAX 096-248-0528

e-mail info@koshi-chubu.ed.jp

ごあいさつ



素晴らしい可能性を秘めた子どもたちに、基督教の『愛と福音』をバックボーンにして、「主の愛にキラキラと輝き育て”光の子”、ワクワク生き生きみんなが主役」を合い言葉に日々努力しています。

積極的な愛と熱意の職員集団、広い園庭に明るい陽射しと澄んだ空気、規則正しい生活と手作り給食で、心と体の健やかな発達・成長を図っています。

また、日常の保育活動の充実とともに、自然体験、地域の方々や小・中学生との交流体験、運動会、生活発表会、作品展等々へ向けての取り組みなど、安全・安心・快適な園生活で意欲的な子どもの育成を目指しています。

理事長 福嶋 龍一

2007～2008年度 熊本県教育委員会・合志市教育委員会
就学前教育の振興・充実モデル実践研究事業「大学と連携した接続期の研究」を展開
2010～2012年度 熊本大学教育学部藤田豊教授
「幼児の自律性を育てるための就学前教育(保育)プログラムの開発研究」協力園

自然に恵まれた、ゆったりした空間で
子どもたちと楽しい生活を送ります



合志中部保育園の目標と保育方針

目指す子ども像

◎ のびのび生き生き みんなが主役！
～ 神様の愛にキラキラと輝き育て光の子！～
・キラリと輝く子どもに ・あいさつと「ありがとう・ごめんなさい」が言える子どもに

保育目標

- 神を愛し、人を愛し、自然を愛し、しなやかな身体と優しい心を持ち、主体的、意欲的、創造的に生きる人間としての基礎を育くむ。



保育方針

- 一人一人の子どもの発達のだんを大切に、あるがままを受け入れ、愛されていると実感できるよう、ゆとりを持って、ていねいにかかわる。
- 安全で快適な環境を整え、思いっきり体を動かす喜びと、興味・関心を活かしてワクワクして活動体験ができるように援助する。
- 安全で、栄養バランスのよい、おいしい手作り給食を提供する。(おやつ・離乳食・除去食・体調にも配慮します。)
- 子育てのパートナーとして、保護者の方としっかり密に連携する。
- 小学校を始め、地域の団体や人々と連携し、様々な人との交わりの体験の機会を持つ。
- 園外活動や食育活動等を通して自然への関心を広げ、食物や環境を大切にする気持ちや公共心を養う。

園の概要

- 名称 合志中部保育園【第二種社会福祉法人 保育所】
- 所在地 熊本県合志市豊岡 311番地1
- 経営主体 社会福祉法人 福音福祉会
◇ 敷地面積 約3,500㎡

職員構成

- 理事長・副園長 福嶋 龍一
 - 園長 福嶋 義信
 - 主任保育士 高山 和恵
 - 子育て支援センター主任保育士 上田 伸子
- クラス担当者(保育士)
- | | |
|---|---|
| さくら組(年長児) 30名 山田 祐伽里、山口 有希 | ばら組(1歳児) 18名 西崎 千佳、町田 優美 酒井 千恵、竹村 美咲 |
| もも組(年中児) 27名 森 めぐみ、上村 香代 | ひかり組(0歳児) 4名 上野 祐子、竹下 敏子 野口 弘美、桑原 博子 |
| ゆり組(年少児) 27名 桐原 香織、富永 麻貴 | 子育て支援センター 上田 伸子、西村 ゆかり |
| つくし組(2歳児) 16名 浦本 瑞穂、宮崎 友加里 児玉 朋代 | 学童クラブ 桑原 博子、福嶋 義矢 |

2013年度
4月の状況です。

※ 園児数の増減により、職員数も変わります。

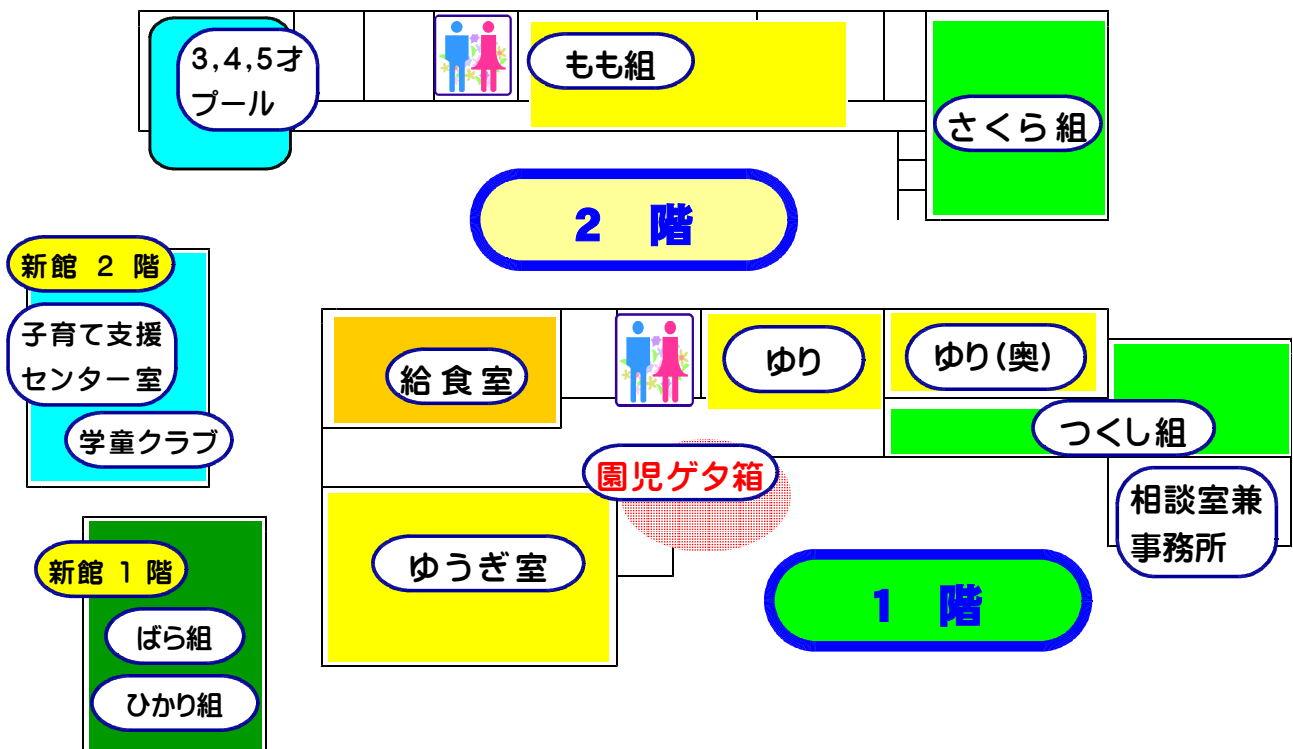
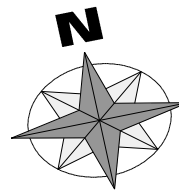
- 管理栄養士 志水 明子
- 調理師 月野 照美 勢田 ゆう子

○ 嘱託医
内科医・・・いけざわこどもクリニック
(合志市野々島 2461)

歯科医・・・宮川歯科医院
(合志市豊岡 2012-63)



お部屋のご案内 年齢別の集団保育



お願い

人口増加の続く合志市は、待機児童を出来る限り解消するために、市の18の私立認可保育所が定員を増加して対応しています。本園としても、出来る限り(法律で定められている保育園の基準を守って)たくさんのお子どもが入園出来るように、定員を80名→90名→120名→130名に変更して現在に至っております。

ゆったりした環境での集団保育としては厳しい面もありますが、合志市のすべてのお子どものすこやかな育ちをとの願いを優先します。*これまでの保護者会役員会でも、承認していただいております。

園児、学童クラブの小学生、子育て支援センターを利用するご家族等々、たくさんの方が集う保育園です。安心安全な保育園でありますように、笑顔溢れる子育てのオアシスになりますように努力します。お子どもの育ちのために、温かいご配慮・ご協力(温かいまなざしと声かけ等)をよろしくお願い致します。

いろいろな体験活動をとおして・・・
 恵まれた環境を活かして心と体のゆたかな成長を援助します

体験したことが、どんどん広がって・・・



タケノコ掘り



クッキング



唐芋苗植え

心に残る、楽しい活動を・・・



誕生会



礼拝



もちつき

安全な生活のために・・・



交通安全教室



消火訓練



幼年消防クラブ

よりよい体験のために・・・

おはなし会
 (おはなしポケットさん)



体育あそび



鼓笛(マーチング)練習



一日の生活 0, 1, 2才児 (未満児)

一人一人の子どもの発達を大切に、あるがままを受け入れ、愛されていると実感出来るように、ゆとりを持って丁寧に関わったり、安全で快適な環境を整え思いっきり体を動かす喜びと興味・関心を活かしワクワクして活動体験が出来るように援助したりします。

午前

7:00

受入準備

開園



8:00

登園 健康観察、自由あそび

9:00

おいのり・朝のお集まり

9:15

朝のおやつ

活動

10:00

☆ 排泄。おむつ交換等は、適宜行っています。



11:15~

昼食・・・完全給食です

みんなで楽しくいただきます。

クラスによって食べ始める時間が

多少違います。



12:00

午後

お昼寝

1:00

☆ 保育者は、子どもたちがお昼寝の間、

2:30

連絡帳を記入したり、ミーティングを

おこなっています。

3:00

おやつ

4:00

午後の活動

4:20~

降園（お迎え）開始

5:00~

保育終了

5:15~

☆ ひかり・ばら・つくし組さんは、ゆり組奥へ移動します。

5:30~

6:00~

延長保育開始

※ ご希望により早朝・延長保育を行います。(1回200円~)必要な方は、お申し出ください。

(電話可) 利用料は、利用される際に提出お願いします。

7:00



一日の生活 3, 4, 5才児 (以上児)

集団で生活しながら、学び合います！



午前

7:00

受入準備
開園

8:00

登園 健康観察、自由あそび
自由あそび片付け
体操・かけっこ



9:30

9:45

礼拝・朝のお集まり ☆ 月曜日は合同礼拝です。9:50～

10:00

活動
☆ みんなで楽しく、多彩な活動を展開します。

11:00



11:40～

昼食 . . . ご飯とおはしの持参をお願いします。
クラスによって食べ始める時間が多少違います。

午後

1:00

☆ 土曜日の昼食は、全員完全給食です。(ご飯とおはしは不要です)

お昼寝

☆ 5才児(年長児:さくら組)は、運動会が
終わると小学校での生活の準備として、お
昼寝をしません。

2:30

おやつ

3:00

☆ 手作りおやつを、みんなでいた
きます！

午後の活動

☆ 天気のよい日は、運動場で遊びま
す。

※ 活動時間帯については、変更もあ
ります。

4:00

礼拝・夕方のお集まり

4:20～

降園(お迎え)開始

5:00

保育終了

～5:29

☆ もも・さくら組は、それぞれの
部屋でお迎えを待ちます。

5:30～

☆ さくら・もも組は、ゆり組へ
移動します。

6:00～

延長保育開始

7:00

※ ご希望により早朝・延長保育を行います。
(7回200円～)必要な方は、お申し出ください。(電話可)
利用料は、利用される際にお支払いください。

2007～2008年度の研究で・・・

環境や人との関わりの中でコミュニケーション能力を育てることを目指す

そのために・・・

- 快活で明るい子ども
- 積極的に遊び、(神さまの愛に感謝する)感謝の心と素直な心、思いやりの心を持ち共に育ち合う子ども
- 強い意志・判断力・忍耐力(我慢強さ、やり抜く力)を持った子ども
- 感動する心、探求心や驚く心と、豊かな感性と想像力を持った子ども
- 開いた心で対話の出来る子ども(相手の話が聞ける子ども)
- 自分の考えを相手に分かる言葉で表現出来る子ども
- 時と場所をわきまえて行動出来る力を持った子ども(けじめのある子ども)
- 創造主である神様を敬う心を持った子ども(神様の愛に気付き自分を愛するように隣人を愛し、感謝を持って平和を作り出す子ども)

を目指しています。

子どもの発達の特徴と保育のねらい

* 発達には個人差があります。保育園では、一人一人に応じた保育に努めています。

参考：熊本保育大学校本田先生より

| 月齢・年齢 | 発達の主な特徴 | 運動能力 | 発達に応じた保育のねらい | 配慮すること |
|------------------|---|--|---|---|
| ～生後 6ヶ月 | 【新生児期】 ・泣いたり手足を動かして快不快の感情を表す。 【3～4ヶ月】 ・おはしゃぎ反応 | ・無条件反射 防禦、定位、吸啜(きゆうてつ)反射 ・首のすわり ・寝返り ・腹ばいで顔を持ち上げる | ・情緒の安定を図る ・生命の保持に努める ・喃語を育む | ・子どもの出すシグナルをキャッチし、欲求を満たす。 ・優しく温かい関わりを持つ。 ・保健的で安全な環境の準備をする。 ・「言葉の貯金の時代」 語りかけを多く持ちコミュニケーションを心がける。 |
| 6ヶ月～ 1歳3ヶ月 | 【乳児期から幼児期への移行の時期】 ・喃語が盛んになる。 ・人見知り(7～9ヶ月) ・探索活動が活発 ・離乳食→幼児食 | ・感染症にかかりやすくなる。 ・おすわり ・這い這い ・つかまり立ち ・直立二足歩行 | ・離乳の完成 ・安全に配慮する ・言葉の発生を促す | ・食事は楽しく。食べたい気持ちを大切にすること。 ・安全で身体活動が十分行える環境を整える。 ・ものや行動を言葉と結びつけてあげる。 |
| 1歳3ヶ月 ～2歳 | 【自立への過程の時期】 ・言葉 一語文→二語文 ・自我の芽生え ・同年齢の子どもへの関心が出てくる | ・身体発達穏やか。運動機能の発達がめざましい。 ・平衡性の伸長 ・押す、投げる、つまむ、めくる、通す、なぐり書きをする。 | ・自立の芽生えを支える ・言葉の習得を促す ・友達への関心を広げる | ・自分でしようとする気持ちを大切にすること。 ・少しずつ言葉を補って、子どもの言葉を二語文から多語文へと広げる。 ・遊びを通して子ども相互の関わりを助ける。 |
| 2歳 | ・探索意欲の始まり ・反抗、自己主張が強くなる。 ・表現活動の芽生え ・簡単なごっこ遊びを楽しむ。 | ・感染症の抵抗力がつく。 ・基本的運動能力の伸長、平衡性、瞬間力、階段の昇降 ・指先の動きが進歩 | ・運動能力の伸長を図る ・模倣活動を促す～表現活動の芽生え | ・自分でしようとしていたり、表現しようとする気持ちを損なわないようにすること。 ・全身や、手指を使う遊びをたっぷりとさせる。 |
| 3歳 | 【一人立ちの時期】 ・自我がよりはっきりしてくる。 ・協調性の慎重 ・質問が盛んに出てくるように | ・基本的運動能力がほぼ育つ。 リズムの体得 スピードが出る。 ・目と手の協応、頭脳、感覚などが発達する。 | ・基本的生活習慣の形成を図る ・集団生活への適応の初歩 | ・気持ちを盛り上げ日常生活の基本をマスターさせる。 ・自己主張だけでなく、相手の気持ちに気付かせ社会性の育ちに注目する。 |
| 4歳 | ・言葉、感性が豊かになる。 ・仲間との関係が強まる。 | ・全身のバランスをとる能力の発達 ・脚力の発達 ・筋の持久性の発達 | ・成就の喜びの体験を図る ・自立の態度を養う | ・体験の中から(遊びを通して)物事を学ばせる。 ・子どもの気持ちを温かく受容。信頼関係の中で、自分の気持ちや考えを安心して表すことが出来るようにすること。 |
| 5歳 | ・基本的生活習慣確立 ・内面的に成長 | ・運動機能の伸長～鉄棒、竹馬、自転車 ・手先の機能の伸長 | ・自立、自信の態度を養う ・生活範囲の拡大を図る | ・社会生活に必要な習慣や態度が身に付くよう配慮する。 |
| 6歳 | ・知識意欲旺盛 ・批判力が増す(口が達者(に)) ・集団で協同遊びを楽しむ。 | ・全身運動はより滑らかに | ・意欲的活動 ・自主、協調の態度 | ・遊びの楽しさや充実感が生活の中心におかれるよう配慮する。 |

安全・安心・快適な園生活を送るために

登園について

- 1 1日のよいスタートを切るために、**午前9時までに登園をお願いします。**
 - ① 7:00～9:00 つくし組以上は、ゆり組前の下駄箱のところでお待ちしています。
 - ② 7:40以降、ばら・ひかり組は、直接ばら・ひかり組のお部屋で受け入れます。

◇ **9時以降の登園は、保護者と共に各保育室までお願いします。保育士は、各保育室に移動し活動に入っています。**

◇ **ゆり・もも・さくら組(3歳以上児)は帽子をかぶって登園をお願いします。**
 - 2 **朝食を必ず食べてから登園をお願いします。**
 - 3 **体調の変化については、必ずお知らせください。**～健康連絡帳(ゆり・もも・さくら組)・れんらくノート(ひかり・ばら・つくし組)への記入もお願いします。～
 - 4 **3歳以上の園児には、主食(ごはん)とお箸を持参させてください。**
 - 5 **交通安全、みんなの願い**
 - 交通事故に注意! 駐車場でも要注意!・・・駐車場では、降車は保護者が先に降りてからお子さんは後に、乗車の時は、お子さんを先に乗せましょう。+ **駐車は、後ろ向き(バック)で駐車→頭からの駐車で、発車時バックで出るのは大変危険です。**
 - **必ずチャイルドシートを着用しましょう! 法律で義務付けられています。**
 - 欠席、登園が遅れる時等は、必ず連絡をお願いします。(～9:00)
- ☆ 安全な保育のために、防犯カメラと人感センサー(屋外用)を24時間作動させております。



降園(おむかえ)について

- 1 降園は、午後4:20以降にお願いします。それより早い場合は、事前に連絡をお願いします。(電話可)
 - ① 午後5:15～ ひかり・ばら・つくし組は、ゆり組奥へ移動します。
 - ② ～午後5:29 もも・さくら組は、お部屋でお迎えを待っています。
 - ③ 午後5:30～ 学童・さくら・もも組は、ゆり組へ移動します。
 - 2 お迎えは、必ず保護者、または、祖父母の方でお願いします。それ以外の場合は、事前に連絡をお願いします。連絡のない場合は、事故防止の観点からお渡しできかねる場合があります。
- ※ 17:15片付けの放送→18:00で運動場での遊び終了→ご帰宅をお願いします。
- 3 午後6時00分を超えた場合は延長保育となります。… **1時間200円:おやつも出します。※やむを得ず、7時00分を超えると追加金となります。30分100円の追加金となります。連絡を受けていない場合や予定の時間を過ぎた場合には、園から確認の電話をすることがあります。**
 - 4 降園時は、必ず『○○さんと帰ります。』と、担任に(又は職員に)あいさつ(3歳以上児は、子どもが言えるように指導しています。)をお願いします。(事故防止に役立ちます。)
 - 5 保護者の方にお子さんを手渡した後は、保護者の責任です…**事故防止のために**
お子様を園庭で遊ばせられるのは結構ですが、保護者の方で責任ある対応をお願いします。また、使った遊具の片付けもよろしくをお願いします。(午後5:15以降は、三輪車等の遊具の使用はご遠慮ください。お子さんとの楽しいふれ合いの時間として、非常に有効と思われませんが、お子さんのケガや事故には十分注意してください。)トイレについても、保護者の方でお願いします。
 - 6 自分の持ち物は、自分で持つ習慣を付けさせましょう。
- ★ **園児の数が大変多くなりました。駐車場も混雑が予想されます。急いでいる方のために、運動場側の駐車場を譲ったり、お迎え時に時間の余裕がある方は市有地に駐車したりして、事故の無いように配慮をお願いします。**

健康・安全面について

☆ 保育園は、集団生活の場です。子どもたちを守る大切なことですので、感染性の病気と診断された場合は、以下のことをお守りいただきますようお願いいたします。

- 1 就寝時間・起床時間等の生活リズムを整え朝食を必ず食べて登園しましょう。(朝食抜きは体力がもたず活動的な遊びができませんし、十分お友達とも遊べません。)
- 2 洗顔・手洗い・うがい・爪切り等常時おこない、清潔に努めましょう。
- 3 保育中にお子さんに急を要する異常が起こったとき(熱発なら38℃以上)は、直ちに保護者に連絡し、お迎えをお願いしますので、緊急連絡先を明確にしておいてください。ただし、緊急時・やむを得ない時、保護者に連絡がつかない時は、直接医師の診断や手当を受けさせることが有りますのでご了承ください。☆ **連絡先の変更がありましたら、すみやかに担任までご連絡ください。**
- 4 病気の際は・集団生活が可能になるまでお休みをお願いします。保育所保育指針が改定され、また、国から感染症対策ガイドラインが示され、これまでの学校保健法に準じた対応とは異なる点があります。『**医師の登園許可【意見書】**』を得てから登園していただく』場合と、『**医師の診断を受けて保護者が【登園届】**』を記入してから登園していただく』場合があります。以下、よくお読みいただき感染症が広がることを出来るだけ防ぐ努力をお願いします。

A 医師が記入した【意見書】が必要な感染症

| 病名 | 感染しやすい期間 | 登園のめやす |
|---------------------|------------------------------|--|
| 麻疹(はしか) | 発症1日前から発しん出現後の4日後まで | 解熱後3日を経過してから |
| インフルエンザ | 発症24時間前から後3日間が最も多く、通常7日以内に減る | 発熱後5日間及び解熱後3日を経過してから |
| 風しん | 発しん出現の数日前から後5日間くらい | 発しんが消失してから |
| 水痘(水ぼうそう) | 発しん出現2日前から面皮形成まで | すべての発しんが痂皮化してから |
| 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) | 発症2日前から耳下腺腫脹後5日 | 耳下腺の腫脹が消失してから |
| 結核 | | 感染の恐れがなくなってから |
| 咽頭結膜熱(プール熱) | 発熱・充血など症状が出現した数日間 | 主な症状が消え2日経過してから |
| 流行性角結膜炎 | 充血・眼脂など症状が出現した数日間 | 感染力が非常に強いため結膜炎の症状が消失してから |
| 百日咳 | 抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで | 特有の咳が消失し、全身状態が良好であること(抗菌薬を決められた期間服用する。7日間服用後は医師の指示に従う) |
| 腸管出血性大腸菌感染症(0157など) | | 症状か治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの |

意見書

合志中部保育園 園長 様

園児氏名 _____

病名 「 _____ 」

☆ 発病 : _____ 年 _____ 月 _____ 日

症状も回復し集団生活に支障がない状態になったので、 _____ 年 _____ 月 _____ 日より、
登園可能と認めます。

_____ 年 _____ 月 _____ 日

医療機関名 _____

医師名 _____

印(またはサイン)

B 医師の診断を受け、保護者が記入する【登園届】が必要な感染症(尚、登園のめやすは、子どもの全身状態が良好であることが基準となります)

| 病名 | 感染しやすい期間 | 登園のめやす |
|-------------------------|--|--------------------------------|
| 溶連菌感染症 | 適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1～2日間 | 抗菌薬内服後24時間経過していること |
| マイコプラズマ肺炎 | 適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間 | 発熱や激しい咳が治まっていること |
| 手足口病 | 手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間 | 発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること |
| 伝染性紅斑（りんご病） | 発しん出現前の1週間 | 全身状態が良いこと |
| 感染性胃腸炎（ノロ・ロタ・アデノウイルスなど） | 症状のある間と、症状消失後1週間（量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要） | 嘔吐・下痢などの症状が治まり、普段の食事がとれること |
| ヘルパンギーナ | 急性期の数日間（便の中に1か月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要） | 発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること |
| RSウイルス | 呼吸器症状のある間 | 呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと |
| 帯状疱疹（ヘルペス） | 水疱を形成している間 | 水痘と同様 |
| 突発性発しん | | 解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと |

- ◇ その他、医師が認めた感染症の病気
- ◇ 医師が、登園を控えるように指示した病気
- ◇ 本園嘱託医と相談し、登園を控えるようにお願いしたい病気

登 園 届

合志中部保育園 園長 様

園児氏名 _____

病名 「 _____ 」と診断され、

年 月 日 医療機関名「 _____ 」において

病状も回復し、集団生活に支障がない状態と判断されましたので登園いたします。

年 月 日

保護者名 _____ 印（またはサイン）

C 場合によっては、医師の診断や治療が必要な感染症（登園届は必要としない）

| 病名 | 感染しやうい期間 | 登園のめやす |
|--------------|--------------|---|
| 伝染性膿痂しん（とびひ） | 湿潤な発しんがある間 | 皮しんが乾燥しているか、湿潤部位が覆える程度のものであること（皮しん・痂皮が浸潤している間は接触による感染力が認められる） |
| 伝染性軟属腫（水いぼ） | | 掻きこわし傷から、浸潤液が出ているときは被覆すること |
| 頭じらみ症 | 発症から駆除開始し数日間 | 駆除を開始していること |

* その他：原因不明の発熱、咳、おう吐、下痢、発しんなどの症状があるとき。

5 薬の服用は原則としていたしません、どうしても必要なときは投薬代行依頼のための「**おくすり依頼書**」を初回に提出していただき、1回分の**薬袋に必ず日時・名前・飲ませる時刻の記入**をお願いします。以後同一の薬の服用については、連絡帳に服用方法、時間、注意事項等をご記入ください。→薬局からもらう、「**薬の説明書**」を、おくすり依頼書とともに提出してください。(お返しします) ※「**おくすり依頼書**」「**薬の説明書**」と薬は、お知らせばさみにまとめてはさんでおいてください。

6 予防接種は、対象の病気の予防や病気に罹ったときに状態がひどくならないようにするために、抗原となるウイルス等を注射します。そのため、副反応が起きる場合があります。

本園では園医さんと相談した結果、**予防接種をした場合は、少なくとも半日間はご家庭で様子を見ていただくことにしています。そのため、午前中の接種直後の保育は出来かねます。また、午後からの接種後も同様です。**

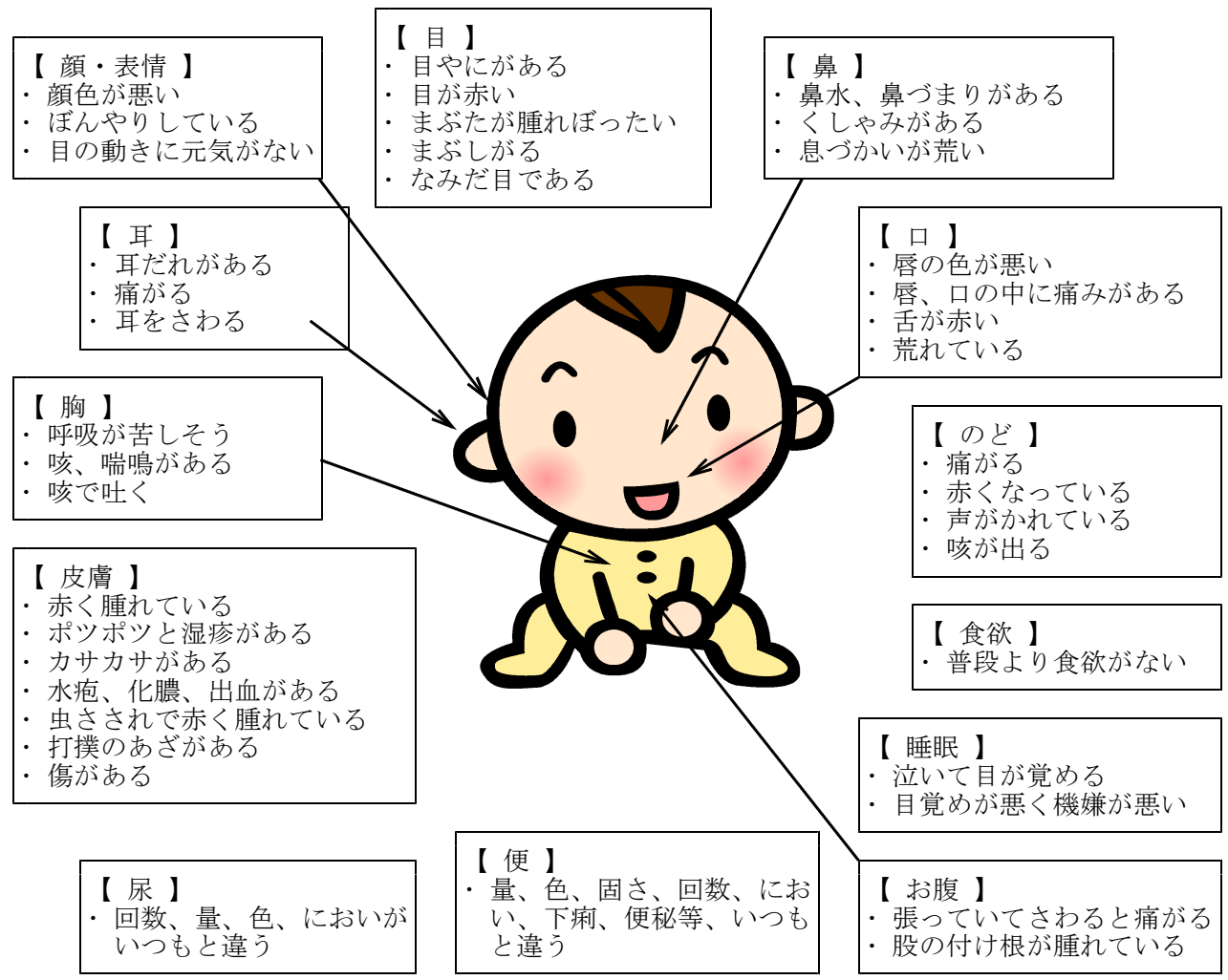
7 健康上、特に食事等について、医師等からの指示がある場合には、必ず連絡をお願いします。

8 **アレルギー除去食も用意します。医師の指示に従い除去食を作りますので、医師の指示書の提出をお願いします。**

9 保育園の管理下での事故やケガについては、独立行政法人日本スポーツ振興センターの保険に全員加入し、また、社団法人 熊本県保育協会推薦の保険(東京海上火災)にも加入していますので、その範囲で対応させていただきます。

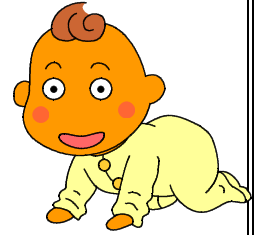
【子どもの病気】～症状に合わせた対応～ 厚生労働省「保育園における感染症対策ガイドライン」2012年11月版参考

① **子どもの症状を見るポイント**



子どもの元気なときの『平熱』を知っておくことが、症状の変化に気付くめやすとなります。

- いつもと違う・・・こんな時は、子どもからのサインです！
 - ・ 親から離れず機嫌が悪い(ぐずる)
 - ・ 元気が泣く顔色が悪い。
 - ・ 便がゆるい。
 - ・ 目やにがある。目が赤い。
 - ・ 睡眠中に泣いて目が覚める。
 - ・ きっかけがないのに、吐いた。
 - ・ いつもより食欲がない。
- 今までになかった発しんに気が付いたら・・・
 - ・ 発しん以外の症状はないか？
 - ・ 時間と共に増えていないか？・・・などの観察をしましょう。
 - ・ クラスにきょうだい、一緒に遊んだ友達の中に、疑われる感染症は出ていないか、確認をしましょう。→ 本園HP緊急情報・緊急メッセージや、緊急連絡メール等で確認。



おくすり依頼書

年 月 日

| | | | | | |
|---|----------------|-----|-----|-------|-----|
| 依頼先 | (保育園名) 合志中部保育園 | | | | |
| 依頼者 | 保護者氏名 | 連絡先 | TEL | 男 | 女 |
| | 園児氏名 | | | 歳 | ヶ月 |
| 受診医療機関名 | 病院・医院 | | TEL | | |
| 医師名 () | | | FAX | | |
| 病名 (症状) | | | | | |
| ① 持参した薬は 年 月 日に処方された 日分のうちの本日分 | | | | | |
| ② 保管は (室温 ・ 冷蔵庫 ・ その他) | | | | | |
| ③ 薬の剤型 (該当するものに○) (粉 ・ 液 (シロップ) ・ 外用薬 ・ その他 ()) | | | | | |
| ④ 薬の内容 (抗生物質 ・ 咳止め ・ 下痢止め ・ 整腸剤 ・ かぜ薬 ・ 鼻水止め 外用薬 ()、その他 ()) | | | | | |
| 薬剤情報提供書 有 ・ 無 | | | | | |
| 【調剤内容】 | | | | | |
| ⑤ 使用する日時 年 月 日 ~ 年 月 日 食前 ・ 食後、その他 () | | | | | |
| ⑥ 外用薬などの使用方法 | | | | | |
| ⑦ その他の注意事項 | | | | | |
| 保 育 園 記 載 | 受領者名 | | | | |
| | 保管者名 | 月 | 日 | 午前・午後 | 時 分 |
| | ----- | | | | |
| | 投与者名 | 月 | 日 | 午前・午後 | 時 分 |
| 園 | 投与時刻 | 月 | 日 | 午前・午後 | 時 分 |
| 記 | 実施状況 | | | | |
| 載 | | | | | |

※ 薬の説明書等がある場合は、この依頼書に添付してください。説明書はお返しします。

② 発熱時の対応

| 登園を控えるのが望ましい場合 | 保育が可能な場合 | 保護者への連絡が望ましい場合 | 至急受診が必要と考えられる場合 |
|---|---|--|--|
| <p>* 発熱期間と同日の回復期が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝から37.5℃を超えた熱とともに… 元気がなく機嫌が悪い 食欲がなく朝食・水分が摂れていない 24時間以内に解熱剤を使用している 24時間以内に38℃以上の熱が出ていた <p>* 1歳以下の乳児の場合（上記にプラスして）</p> <ul style="list-style-type: none"> 平熱より1℃以上高いとき（38℃以上あるとき） | <p>* 前日38℃を超える熱が出ていない</p> <ul style="list-style-type: none"> 熱が37.5℃以下で、元気があり機嫌がよい 顔色がよい 食事や水分が摂れている 発熱を伴う発しんが出ていない。 排尿の回数が減っていない 咳や鼻水を認めるが増悪していない 24時間以内に解熱剤を使っていない 24時間以内に38℃以上の熱は出ていない | <p>* 38℃以上の発熱がある</p> <ul style="list-style-type: none"> 元気がなく機嫌が悪い 咳で眠れず目覚める 排尿回数がいつもより減っている 食欲なく水分がとれない <p>※ 熱性けいれんの既往児は、医師の指示に従う</p> | <p>* 38℃以上の発熱の有無に関わらず…</p> <ul style="list-style-type: none"> 顔色が悪く苦しそうなとき 小鼻がピクピクして呼吸が速いとき 意識がはっきりしないとき 頻繁な嘔吐や下痢があるとき 不機嫌でぐったりしているとき けいれんが5分以上治まらないとき 3ヶ月未満児で38℃以上の発熱があるとき |
| <p>※ 発熱については、あくまで目安であり、個々の平熱に応じて、個別に判断して下さい。</p> | | | |

《 発熱の対応・ケア 》

- 発しんや類似の感染症が発症している場合は、別室で保育する。
- 水分補給をする。(湯ざまし・お茶等)
- 熱が上がって暑がるときは薄着にし、涼しくする。氷枕などをあてる。手足が冷たい時、寒気がある時は保温する。
- 微熱のときは、水分補給や静かに過ごし、30分くらい様子を見てから再検温する。
- 保護者のお迎えまでの間
 - 1時間ごとに検温する。
 - 水分補給を促す。(吐き気がなく発熱だけであれば、本人が飲みたいだけ与える)
 - 汗をかいたらよく拭き、着替えさせる。
- 高熱があり嫌がらなければ、首のつけ根・わきの下・足の付け根を冷やす。

* 熱性けいれん既往歴がある場合

- 入園時に保護者からけいれんが起こった時の状況や、前駆症状について聞いておく。
- 解熱していても、発熱後24時間は自宅で様子を見る。
- 発熱及びけいれん時の連絡・対応等を主治医から指導内容を確認する。

(例: 37.5℃以上、保護者への連絡先、病院等)

- 室温: (夏) 26～28℃ (冬) 20～23℃
- 湿度: 高め
- 換気: 1時間に1回
- 外気温との差: 2～5℃

* 0～1歳の乳児の特徴

- 夏季熱: 体温調節機能が未熟なために、外気温、室内の高い気温や湿度、厚着、水分不足等で影響を受けやすく、体温が簡単に上昇する。かぜ症状がなければ水分補給を十分に行い、涼しい環境に置くことで下がることがある。
- 0歳児では入園後はじめての発熱で機嫌もわりと良い場合は、突発性発しんの可能性がある。時に熱性けいれんを起こすことがある。
- 発熱、機嫌が悪い、耳をよくさわる時は、中耳炎の可能性がある。
- 0歳児は予防接種未完了の子が多い、感染症情報には十分留意し園医や主治医と相談し対応する。
- 1歳になったらなるべく早く、麻しん風しん混合ワクチンの定期予防接種を勧める。



③ 下痢の時の対応

| 登園を控えるのが望ましい場合 | 保育が可能な場合 | 保護者への連絡が望ましい場合 | 至急受診が必要と考えられる場合 |
|---|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 24時間以内に2回以上の水様便がある ・ 食事や水分を摂ると下痢がある (1日に4回以上の下痢) ・ 下痢に伴い、体温がいつもより高めである ・ 朝、排尿がない | <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染のおそれがないと診断されたとき ・ 24時間以内に2回以上の水様便がない ・ 食事、水分を摂っても下痢がない ・ 発熱が伴わない ・ 排尿がある | <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事や水分を摂ると刺激で下痢をする ・ 腹痛を伴う下痢がある ・ 水様便が2回以上みられる | <ul style="list-style-type: none"> ・ 下痢の他に機嫌が悪く食欲がなく発熱や嘔吐、腹痛を伴うとき ・ 脱水症状と思われるとき 下痢と一緒に嘔吐 水分が取れない 唇や舌が乾いている 尿が半日以上出ない (量が少なく、色が濃い) ・ 米のとぎ汁のような水様便が数回 ・ 血液や粘液、黒っぽい便のとき |

《下痢の対応・ケア》

- ① 感染予防のための適切な便処理を行う。
- ② 繰り返す下痢・発熱、嘔吐等他の症状を伴う時は、別室で保育する。
- ③ 嘔吐や吐き気がなければ下痢で水分が失われるので、水分補給を十分行う。
湯ざまし、お茶、等を少量ずつ頻回に与える
- ④ 食事の量を少なめにし、乳製品は控え消化の良い物にする。
- ⑤ おしりがただれやすいので清潔にする。
- ⑥ 診察を受けるときは、便の一部を持っていく(便のついた紙おむつでもよい)。
受診時に伝えること:便の状態→量、回数、色、におい、血液・粘液の混入
子どもが食べた物やその日のできごと、家族やクラスで同症状の者の有無等



- 消化吸収の良い、おかゆ、野菜スープ、煮込みうどん(短く刻む)等を少量ずつゆっくり食べさせる。
- 適切な水分と経口電解質の補給(医師の指示により使用すること)
- 下痢の時に控えたい食べ物
 - * 脂っこい料理や糖分を多く含む料理やお菓子
 - * 香辛料の多い料理や食物繊維を多く含む食事
ジュース、アイスクリーム、牛乳、ヨーグルト、肉、脂肪分の多い魚、芋、ごぼう、海草、豆類、乾物、カステラ
- お尻がただれやすいので清潔にする
 - * 入浴ができない場合は、おしりだけでもお湯で洗う。

④ 嘔吐の時の対応

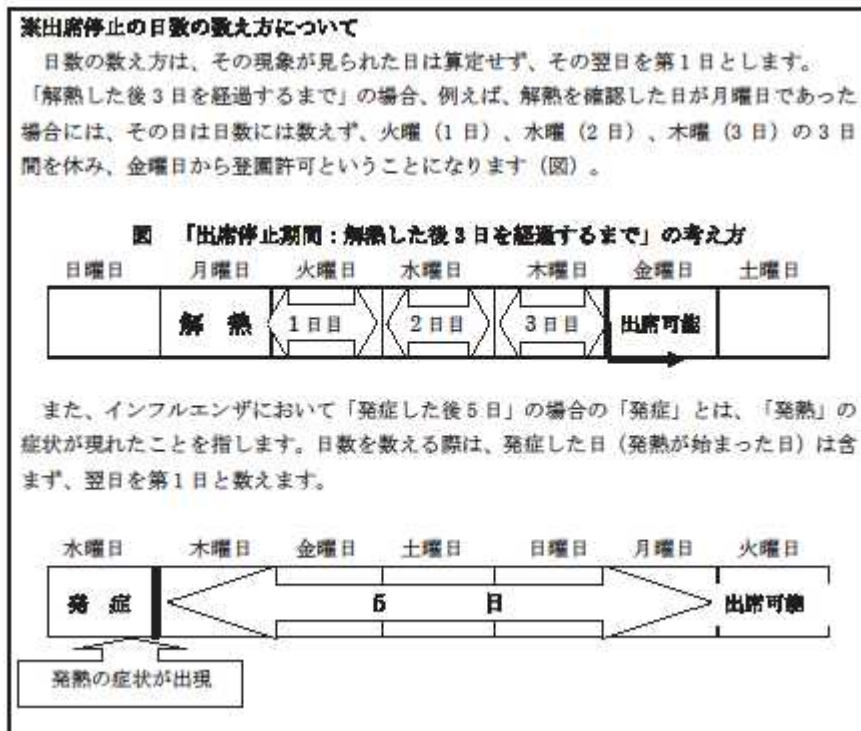
| 登園を控えるのが望ましい場合 | 保育が可能な場合 | 保護者への連絡が望ましい場合 | 至急受診が必要と考えられる場合 |
|---|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 24時間以内に2回以上の嘔吐がある ・ 嘔吐に伴い、いつもより体温が高めである ・ 食欲がなく、水分もほしがらない ・ 機嫌が悪く、元気がない ・ 顔色が悪くぐったりしている | <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染のおそれがないと診断されたとき ・ 24時間以内に2回以上の嘔吐がない ・ 発熱がみられない ・ 水分摂取ができ食欲がある ・ 機嫌がよく元気である ・ 顔色が良い | <ul style="list-style-type: none"> ・ 咳を伴わない嘔吐がある ・ 元気がなく機嫌、顔色が悪い ・ 2回以上の嘔吐があり、水を飲んでも吐く ・ 吐き気がとまらない ・ お腹を痛がる ・ 下痢を伴う | <ul style="list-style-type: none"> ・ 嘔吐の回数が多く顔色が悪いとき ・ 元気がなく、ぐったりしているとき ・ 水分が摂取できない時 ・ 血液やコーヒーのかすの様な物を吐いた時 ・ 頻回の下痢や血液の混じった便が出たとき ・ 発熱、腹痛の症状があるとき ・ 脱水症状と思われるとき 尿が半日以上出ない 落ちくぼんで見える目 唇や舌が乾いている 張りのない皮膚や陰囊 |

《嘔吐の対応・ケア》

- ① 何をきっかけに吐いたのか(咳で吐いたか、吐き気があったか等)確認する。
- ② 感染症が疑われるときは、他の保育士を呼び他児を別の部屋に移動する。
- ③ 嘔吐物を覆い、嘔吐児の対応にあたる。
 - ・ 口の中に嘔吐物が残っていれば、見えているものを丁寧に取りのぞく。
 - ・ うがいのできる子どもはうがいをさせてきれいにする。
 - ・ 次の嘔吐がないか様子を見る。(嘔吐をくり返す場合は脱水症状に注意する)
- ④ 別室で保育しながら、保護者の迎えを待つ。
- ⑤ 寝かせる場合は、嘔吐物が気管に入らないように体を横向きに寝かせる。
- ⑥ 30分程度後に吐き気がなければ、様子を見ながら、水分を少量ずつ摂らせる。
- * 頭を打った後に嘔吐を繰り返したり、意識がぼんやりしているときは横向きに寝かせて大至急脳外科のある病院へ受診する。



【新型インフルエンザへの対応】 →発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日（幼児にあっては、3 日）を経過するまで・・・日数の数え方は、その現象が見られた日は換算せず、その翌日を第 1 日とします。インフルエンザにおいて「発症した後 5 日」の場合の「発症」とは、「発熱」の症状が現れたことを指します。日数を数える際は、発症した日（発熱が始まった日）は含まず、翌日を第 1 日と数えます。



お弁当について

1 ご飯はお子さんが無理なく食べられる量を入れてください。また、弁当箱はプラスチックより金属の物が良いです。（冬はほかほか暖めます。）
☆ お子さん自身が、開けることの出来る容器でお願いします。



- 2 毎月の誕生会の日には、全員完全給食にしています。（3歳以上児：お箸だけ持参してください。）
- 3 月に一度は『手作り弁当日』を設けて、親子の絆つくりをしています。また、手作りの美味しいお弁当を作っていたという楽しい思い出をもって成長してほしいとの願いからです。どうか、楽しい語らいの中で弁当を準備されますようおすすめいたします。お弁当と、お箸（フォーク・スプーン）・水筒も、必要です。

持参品について

- 1 毎日持ってくるもの
 - 3歳未満児：子どもが出し入れしやすい袋に→着替え2～3組、連絡帳（お知らせばさみ）、着替えを入れるビニール袋。お手ふきタオル（毎日交換：つくし組のみタオル掛けに掛けられるようなひも付きタオル）*おむつが必要なお子様は、5～6枚が目安です。
 - 3歳以上児：リュックに、連絡帳、弁当（白ご飯）、お箸、お手ふきタオル（毎日交換）、歯ブラシ・コップ。子どもが出し入れしやすい袋に、着替え2～3組、着替えを入れるビニール袋。
- ※ 加えて、もも・さくら組は、ランチョンマットも、毎日持たせてください。
- 2 週の初めに持ってくるもの・・・布団
- 3 服装・・・自由服＋クラスごとの帽子

- 持ち物・衣服・くつ等には必ず記名をお願いします。
- 雑巾2枚とティッシュペーパー1箱、教材(新年度用品)を、指定期日までに持参していただきますようお願いいたします。補充については、随時、担任から連絡します。

- 着替えを入れるビニール袋1枚を**毎日**持参してください。

☆ 吐物及び排便等で汚れた衣服等の取り扱いについて

2009年、合志市認可保育園職員全体研修会で、「福祉施設における感染症対策について」と題して菊池保健所長、藤中高子先生の講演がありました。その中でノロウイルス等による感染性胃腸炎での下痢、嘔吐時の衣服や寝具については、保育園で洗う等の処理は感染を拡げることにつながるので、一切処理せず、そのままビニール袋に密閉し家庭に持ち帰ってもらうようにと指示されました。

- **園で使用する物には必ず名前を(どんな小さな物でも)記入してください。また、衣類にも全部に記名をお願いします。**

まったく同じ洋服・くつ・くつ下・下着等があり、名前が無いと誰の持ち物か全然分かりません。自分の物と他人の物とを区別する事を学ぶとともに自分の物に愛着を持って大事にすることができる様になってほしいと思います。

また、保育者の限られた時間や力を無駄に使用せず、保育そのものに有効に生かすためにもご協力をお願いします。

- ★ 髪留め用のゴムは、飾りのないものをお願いします。ぶつかったときのケガの防止・誤飲防止です。

- ★ 季節や子どもの遊びに配慮した服装をお願いします。スカートで走って転んでのケガ、一輪車の練習をしてのケガが目立ちました。

連絡帳について

お便り帳(お知らせばさみ)を毎日持たせてください。毎日必要事項の記入(ひかり・ばら組はれんらくノート、つくし・ゆり・もも・さくら組は健康連絡帳)をお願いします。

ただし、3歳以上児の連絡帳の使用は希望制とします。ご希望の方はお便り帳(お知らせばさみ)に入る大きさの物を各自準備してください。保育者は、お子さんの様子を少し詳しくお知らせしたいと思います。毎回の返事を書くことが出来ない場合もあります。ご了承ください。また、園・担任からの連絡やプリント等ははさんでいますので**毎日ご確認**をお願いします。

楽しい子育てのために

- 欠席の場合には、必ずご連絡をお願いします。

○ 土曜日は、家庭での保育ができる(お仕事が休みの)場合は、ご家庭で子どもとのふれあいを大切にいただけると幸いです。保育が必要な場合は、職員の配置・給食準備の都合上、**出来るだけ事前(～木曜日)**にお知らせください。+「**就労証明書(土曜日分)**」の提出をお願いします。

- 保育時間中の電話での担任への連絡は、ご遠慮ください。園長・副園長または、主任等が伝言等をお受けします。

- 保育所保育指針も改定となり、保育の専門性が益々求められています。よい保育の実践は、保育者の質の向上以外には不可能です。そのため、夕方(午後6:00～)に園内研修会・職員会議を行っております。保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。*日時については園便りを参照ください

- **緊急時に、迅速かつ確実に連絡が付きますように、連絡先の変更の場合は、速やかにお知らせください。全保護者向けの緊急連絡に、携帯メールによる配信システムを運用しております。**

保育料について

- お子さまの保育料は、市で決定されたものです。
- 月々の保育料は、口座振替制度が導入されました。出来るだけ口座振替の利用をお願いします。また、保育料は本来、市が直接徴収すべきものですが、便宜上、園で徴収に協力しています。従いまして、毎月20日頃に徴収袋をお子さんに持たせますので、26日頃までに**つり銭の要らないように**して、納入してください。園で集めた分は、すべてJA（農協）を通じて市役所へその日のうちに納めます。ご協力をお願いします。
- ☆ 徴収月を超えた場合は、督促料が発生する場合がありますので、納付書をお渡しします。～各自で納入をお願いします。また、お渡ししました保育料袋は、園にお返しください。
- ※ 土曜日と午後3時半以降は、JA（農協）に納められませんので、お預かり出来ません。ご注意ください。
- **保護者会費は、3ヶ月ごと（4, 7, 10, 1月）に保育料とは別に集めて、保護者会の会計さんにお渡しします。**
- ☆☆ お金の間違いを防ぐために、連絡帳にも一筆記入をお願いします。また、担任（職員）にもお金を○
○円入れていますと、一声かけて頂くと幸いです。）

◎ メール配信用登録のお願い・・・毎年度、登録をお願いします。

メール一斉配信のための登録・・・インターネットまたは、携帯電話からの緊急連絡（メールアドレス）登録の方法

1 本園ホームページへの接続。本園ホームページアドレス【<http://www.koshi-chubu.ed.jp/>】を、インターネットに接続されているコンピュータ、または、携帯電話で開く。※右上のQRコード読み取りからも、ジャンプできます。

2-①携帯による接続

トップページの下の方（①トップ②お知らせ③アルバム④子育て支援の予定⑤入園案内の次）に、「緊急連絡の申し込みは、[こちらからメールにて](#)申し込みください」と表示されています。

(1) m@koshi-chubu.ed.jp へメールを（件名、本文なしでもOK、何度送信してもOKです）送る

(2) 返信メールが届くので開く

(3) 「メールアドレス登録を、下記のURLより続けてください。」のメッセージの後の登録URLへジャンプする。

(4) お子さんのクラスと名前を記入

(5) [送信]をクリック

これで終了です。

2-②PC（パソコン）による接続

トップページ「合志中部保育園」のすぐ下に、ボタンが左から「トップ」「お知らせ」「おたより」「アルバム」「よてい」「子育て支援」「園の紹介」「入園案内」「お問合せ」と並んでいます。

その「お問合せ」ボタンをクリックすると、メール用の画面が出てきます。あとは、2-①と同様の操作をしてください。

☆ 保護者会役員さんは、クラスのあとに、保護者会役員と付け加えて下さい。～保護者会役員会の確認メールを送る際に使用します。

☆ このメールアドレスは、行事のお知らせや災害や事故の場合の緊急連絡用に限り使用します。また、他者に個人のアドレスは公開しません。

★ メール配信の運用開始は、4月のお見知り遠足の開催：決行 or 中止を予定しております。

◇ 携帯電話のドメイン指定の受信設定手順は以下のとおりです。

※ メールアドレスに連続したドット「..」、@直前にドット「.@」を使用した場合は、お届け出来ません。



【キャリア別登録方法】

a u

1. メールメニューを起動
2. E-メール設定を選択する。
3. [その他の設定]を選択する。
4. ここでネットに接続される。
5. [メールフィルター]を選択する。
6. 暗証番号を入力する
7. ■個別設定の[指定受信リスト設定]を選択。
8. 登録欄に、koshi-chubu. ed. jp を入力
9. [登録]を選択する。
10. 設定確認で、[登録]を選択。
11. 終了。

ドコモ

1. [i-mode]起動する。
2. メインメニューから[料金&申し込み・設定]を選択する。
3. [簡単メール設定]を選択する。
4. [詳細な設定(メール設定)]を選択する。
5. メール受信設定の[迷惑メール対策]を選択する。
6. i-modeパスワードを入力する
7. 受信/拒否設定の[設定]にチェックを入れて、[次へ]を選択する。
8. ステップ3の[受信設定]を選択する。
9. 個別に受信したいアドレスまたはドメインの欄に、koshi-chubu. ed. jp を追加し、[登録]を選択する。
10. [次へ]を選択する。
11. 登録終了する。

【2013年度 キリスト教保育…聖句、主題、月の願い】

| | | | |
|-----|---|--|--|
| 年聖句 | 信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。 コリントの信徒への手紙Ⅰ 13章13節 | | |
| 年主題 | あふれる愛 | | |
| 月 | 月主題 | 0・1・2歳児の月の願い | 3・4・5歳児の月の願い |
| 4月 | あなたの神、主を愛しなさい。申命記6章5節 よろしくね | ・自分が受け入れられていること を感じ、安心する ・新しく出会った人やものに親し みを感じる | ・保育者や友達に親しみをもつ ・好きな遊びを見つけ安心して 過ごす |
| 5月 | 私たちが愛するのは、神がまず私 たちを愛して下さったからです。 よろしくね | ヨハネの手紙Ⅰ 4章19節 *4月と同様 | |
| 6月 | イエスは知恵が増し、背丈も伸び、 神と人ともに愛された。 やってみようかな | ・園生活に慣れ、安心して過ごす ・保育者や身近な友達と好きな遊 びを楽しむ | ルカによる福音書2章52節 ・遊びを楽しむ中で自分の気持 ちを伝えようとする ・身近な自然現象・生き物や様 々な素材にふれる |
| 7月 | あなた方は神に愛されている子 どもです。 きもちいいな | ・健康に過ごす ・夏の自然に触れ、様々な遊びを 楽しむ ・家族や保育者とゆったりした時 間を過ごす | エフェソの信徒への手紙5章1節 ・健康に過ごす ・地域社会や世界の出来事に心 を傾けるときをもつ ・夏の自然にふれ様々な遊びを 楽しむ ・家族や保育者とゆったりした 時間を過ごす |
| 8月 | あなた方も愛によって歩みなさい。 きもちいいな | エフェソの信徒への手紙5章2節 *7月と同様 | |
| 9月 | 自分自身を愛するように隣人を愛 しなさい。レビ記19章18節 おもしろいよ、おもしろ いね | ・体を動かす遊びを楽しむ ・保育者や友達に自分の思いを伝 え合いながら過ごす ・季節の移り変わりを感じ、身近 な自然と出会う | ・体を動かす遊びを楽しむ ・季節の移り変わりに気付き、 身近な自然とふれあって遊ぶ ・自分の気持ちや考えを出して 友達と過ごす |
| 10月 | わたしがあなたを愛したように、互 いに愛し合いなさい。 おもしろいよ、おもしろ いね | ヨハネによる福音書15章12節 *9月と同様 | |
| 11月 | どんなことでも、思いわずらうの はやめなさい。 みつけたみつけた | ・秋のみのりを喜んで味わう ・季節の変化の中で元気に過ごす | フィリピの信徒への手紙4章6節 ・秋のみのりに感謝し、味わう。 ・いろいろな人の働きを心にと める ・自分の気持ちや考えを出し合 いながら友達と過ごす |
| 12月 | エフラタのベツレヘムよ、おまえは ユダの氏族の中でいと小さき者。 お前の中から、イスラ エルを治める者が出る。 うれしいね | ・保育者や身近な友達と一緒にク リスマスを楽しみに待ち、喜ぶ | ミカ書5章1節 ・クリスマスの意味を知り、喜 びを分かち合う ・いろいろな人のことを思い、 自分ができることを考える |
| 1月 | おのおのの部分は分に応じて働い て体を成長させ、自ら愛によって 造り上げられてゆく。 あしたもしようね | ・手や指を十分使って遊ぶ ・冬の生活習慣を知る ・保育者や身近な友達とのつなが りが深まる | エフェソの信徒への手紙4章16節 ・冬の生活習慣を身に付ける ・友達と協力し、アイデアを 出し合い、工夫し遊ぶ ・お互いの違いを認めつつ、助 け合うことを喜ぶ |
| 2月 | 平和を保ちなさい。そうすれば、愛 と平和があなた方と共にいてくだ さいます。 あしたもしようね | コリントへの信徒への手紙Ⅱ 13章11節 *1月と同様 | |
| 3月 | 希望は私たちを欺くことはありません。 おおきくなったよ | ・自分で出るといふ気持ちや、 したいという意欲をもつ ・家庭や保育者間の丁寧な連携の 中で、安心して進級できる | ローマの信徒への手紙5章5節 ・神さまの守りの中で、大きく なったことを喜び、感謝する ・自信をもって毎日の生活を過 ごしながら、新しい生活への 期待をもつ |

保育園の子どもだけでなく地域の子育て支援の拠点として



学校や地域との連携も、よい育ちへのかけはし



◎ 子育て支援センター “ひかりの子”

家庭で子育てをしているご家族が、自由に参加体験できる活動です。



◎ 学童クラブ

小学生の放課後の集団生活の場です。元気いっぱい、活動も多彩です。



☆ 夏休み・春休みや、1日単位の参加も出来ます。

◎ 食育の充実



掲示板にも、子どもたちの情報をどんどん公開していきます。
☆ホームページも、ご利用ください。(pcと携帯両方ともok)

<http://www.koshi-chubu.ed.jp/>

創立51年目を迎えました。これからもよろしくお祈りします!

園の沿革

合志中部保育園は、1962（昭和 37）年、地域の方々の『子どもたちを健全に育てたい』との強い要望により協力委員会が組織され、初代園長に元村長であった斎藤一馬氏を迎え、村当局より合志小学校に統合して空いていた元豊岡小学校の跡地と校舎を借り受け「合志中部保育園」として、厚生大臣と熊本県知事から認可を得て発足した。

二代目の園長に就任した福嶋照氏は、保育の公共性と時代の要請を敏感にキャッチし真の保育を求めつつ、私財を投じて社会福祉法人『福音福祉会』を設立。その後、自ら理事長となり、敷地（半分は町より購入）や資金その他を提供した福嶋龍一を園長に迎え、日本船舶振興会の資金援助を得て 3,000 m²の敷地に鉄筋コンクリート 2 階建ての新園舎を建設し、理想の保育に向かって前進を開始した。

二代目理事長・三代目園長、福嶋龍一は、キリスト教精神をバックボーンにし、神の「愛」と「福音」の保育を夢見て、「真の保育とは、神様（創造主）を愛し、隣人を愛し、自然を愛し、神様の国を目指す、キリスト教保育にこそある」との確信のもと、日々主イエス・キリストの十字架の救いと愛に感謝と讃美を捧げながら、職員と共に前進している。

1999～2000年、大規模修繕工事、乳児保育・一時保育の充実・子育て支援センター事業展開のための多機能化拡張工事を行う。

2006年度、合志市の次世代育成支援計画に基づき、定員を120名に増員し、それに伴う給食室の大規模修繕工事、並びに保育室拡張に伴う新園舎増築を行う。

また、2006～2007年度、熊本県食育推進実践モデル保育園の指定を受ける。同じく、2007年度、日本保育協会より保育所食育実践充実モデル園の指定を受ける。更に、2007～2008年度、合志小と共に熊本県・合志市教育委員会より“大学と連携した接続期の研究”の指定を受け、2008年にプレ発表、2009年1月27日に研究発表会を実施。

2010年度より、これまでの実績と合志市の待機児童解消のために、定員を130名に増員する。

また、合志市の『子育て支援日本一』のまちづくりを受け、多くの子どもの入園を受け入れる態勢作りに努めている。

2010～2012年度 熊本大学教育学部藤田豊教授による「幼児の自律性を育てるための就学前教育（保育）プログラムの開発研究」に協力中。

2012年2月18日、創立50年記念式典を開催…合志中学校吹奏楽部の演奏、日本キリスト教団錦ヶ丘教会 川島牧師による記念礼拝、創立以来の地域関係者及び歴代保護者会役員、県・市の保育関係者をお迎えしての祝会

創立51年目を迎え、福嶋義信が園長就任。保育事業に加え、地域子育て支援拠点事業及び、学童保育事業等を行い、更なる地域の子育てセンターとしての充実を目指している。

— 苦情処理のための体制を設けています —

分からないこと、相談したいこと、質問したいこと、困ったこと等ありましたら、お気軽にご連絡下さい。 — 副園長 福嶋 龍一まで —

TEL 096-248-0080

または、e-mail info@koshi-chubu.ed.jp

= 2013年度 主な行事予定 =

2013年4月1日現在

| | |
|--------------------|---|
| 4 月 | 個人面談、交通安全教室 |
| 2 日 (火) | 保護者会役員会 |
| 6 日 (土) | 入園・進級式 入園・進級説明会 保護者会総会 |
| 9 日 (火) | 学童クラブ入会式 (小・中学校入学式) |
| | 個人面談開始 |
| 20 日 (土) | お見知り遠足 (カントリーパーク) |
| | 内科健診 |
| 5 月 | 歯科検診、さつまいも苗植え |
| 18 日 (土) | 保育参加・参観・育児講演会、新旧保護者会役員引継 |
| 24 日 (金)・25 日 (土) | さくら組キャンプ (YMCA阿蘇キャンプ場) |
| | 人形劇 |
| 6 月 | プール開き (中旬)、保護者緊急連絡を使った災害避難訓練 花の日・・・翌日、施設訪問花配り (手作り弁当日) |
| 4 日 (火)～7 日 (金) | 自由保育参観週間 |
| 7 月 | クラス懇談会 |
| 27 日 (土) | 平和まつり (夏祭り) |
| 8 月 | |
| 9 月 | 運動会予行 |
| 28 日 (土) | 運動会 (雨天時は順延→体育館で実施) |
| 10 月 | 内科健診、秋の遠足 (手作り弁当日) |
| 27 日 (日) | 上庄区城山まつり (予定) |
| 11 月 | 歯科検診、幼児祝福式 |
| 2 日 (土) | 子育てふれあい広場 |
| | 収穫感謝祭～翌日→クッキング |
| | 祝クリスマス・生活発表会予行 |
| 12 月 | 個人面談、祝クリスマス・生活発表会予行、さくら組社会見学 (手作り弁当日)、餅つき |
| 21 日 (土) | 祝クリスマス・生活発表会@ヴァイブル文化会館 (予定) |
| 中旬以降 | 餅つき |
| 28 日 (土) | 2013年 保育終了 |
| 1 月 | 個人面談 |
| 4 日 (土) | 通常保育開始 |
| | さくら・もも組親子スケート |
| 28 日 (火)～31 日 (金) | 自由保育参観週間 |
| 2 月 | クラス懇談会 |
| | 祖父母に感謝する会 (さくら組) |
| 22 日 (土) | イースター記念マラソン大会 (全員) * 予備日3月1日 (土) |
| | 作品展・子育てふれあい広場 |
| 3 月 7 日 (金) | お別れ遠足 (バス)→ゆり・もも・さくら組園児：手作り弁当日、 |
| 18 日 (火)～19 日 (木) | さくら組 卒園記念作品展 |
| 22 日 (土) | 卒園式・・・さくら組、もも組園児参加 |
| 28 日 (金) | 2013年度 保育修了 |

- ☆ 毎月発行の園便り、クラス便りでの確認をお願いします。
- ☆ 蛍光ラインを引いている行事は親子参加ですので、原則として、通常保育は行いません。
- ☆ 毎年、保護者会主催 市内保育園親睦ミニ・バレー大会 (ヴァイブル) があります。
- ☆ 料理教室 (育児講座)・保護者会主催家庭教育学級 (随時) も予定しております。

【 毎月の行事 】

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ① 牧師による合同礼拝 | ⑧ リトミック (さくら・もも組) |
| ② 誕生会 | ⑨ お話し会 |
| ③ 身体測定 | ⑩ 月1回 手作り弁当日 |
| ④ 災害避難訓練 | ⑪ みんなで楽しむお話し会 |
| ⑤ 安全教室 (交通安全・日常安全) | ☆ 月曜～金曜・・・子育て支援センター |
| ⑥ 園外保育 (散歩等) | ☆ 月曜～土曜の午前中・・・園庭開放 |
| ⑦ 体育遊び (さくら・もも組) | ☆ 小学校児童の放課後保育～学童クラブ |

